

## 1 内政

### (1) 通信インフラ大臣の指名

2日、モラレス大統領は、アルド・ガルシア氏を通信インフラ公共事業住宅大臣に指名した。オルドニェス前大臣が1月25日に辞任し、同日、ホセ・ベニト同次官が大臣に指名されたが、実際は、ベニト次官は大臣代行の扱いで、大臣職は空席のままであった。

### (2) 外務次官の指名

9日、新しい外務次官がモラレス外相によって発表された。アナマリア・ディエガス、サンドラ・ホベル、アリシア・カスティージョの三名である。カルロス・マルティネス外務次官は続投となった。

### (3) 汚職に対する無処罰の割合

10日、法務省と司法組織は、2015年摘発された汚職の割合が2.96%にとどまり、残りの97.04%が無処罰であったことを発表した。2008年には0.56%しか摘発されなかったため、2.40ポイント改善したことになる。

### (4) バルデッティ元副大統領に別の汚職容疑

23日、アマティトゥラン湖の水を清掃する公的なプロジェクトを2014年12月に行った際に、汚職を行ったとして、バルデッティ元副大統領を含む14人が逮捕された。元副大統領の弟である、マリオ・バルデッティが主犯格で、清掃業者から多額の現金を受け取り、不正を行ったと見られる。バルデッティ元副大統領にとっては「ラ・リネア」に続いて、2つめの汚職容疑となった。

### (5) 内戦時代の性的奴隷、暗殺、失踪に関する初の有罪判決

26日、内戦時代のイサバル県エル・エストール市のセプル・サルコ陸軍分遣隊における性的暴行、暗殺、失踪に関し初の有罪判決が出た。エステエルメル・レジェス元陸軍中佐に懲役120年、エリベルト・バルデス元軍事コミッショナーに懲役240年が言い渡された。

## 2 外交

### (1) 天野 IAEA 事務局長のグアテマラ訪問

2日及び3日、天野 IAEA 事務局長はグアテマラを訪問し、マルティネス外務次官と会談を行った。同会談において両者は、IAEAの持続可能な開発に関する2030年までのアジェンダや、ジカ・ウィルスによって引き起こされている国際的な緊急事態への対処等について協議した。

### (2) ソリス・コスタリカ大統領のグアテマラ公式訪問

18日から20日の3日間、ソリス・コスタリカ大統領は当国を公式訪問し、モラレス当国大統領との首脳会談等を行った。18日、ソリス大統領は、モラレス大統領との会談において、コスタリカの中米統合機構（SICA）の全分野における活動への早急な復帰について願望を述べた。モラレス大統領は、コスタリカが再度当国の治安分野及び麻薬問題対策への支援を表明した旨強調した。

### （3）新しい大使館と領事館の設置

21日、モラレス外相がモロッコとトルコに大使館を設置する計画を明らかにした。その後、南アフリカとインドネシアにも大使館を設置する予定である。また、領事館を米国に10館、メキシコに4館、カナダに2館追加で設置する計画も同時に発表した。

### （4）モラレス大統領の北部三角地帯繁栄のための同盟計画の首脳会談出席

24日、モラレス大統領は、サンチェス・セレン・エルサルバドル大統領、エルナンデス・ホンジュラス大統領とともにホワイトハウスでバイデン米副大統領主催の北部三角地帯繁栄のための同盟計画の首脳会談に参加し、移民問題などについて会談した。モラレス大統領と三者との会談は、1月の大統領就任式の際に行われた会談に次いで2回目である。また、モラレス大統領はサンチェス・セレン・エルサルバドル大統領、エルナンデス・ホンジュラス大統領と3者で会談し、中米経済統合について議論した。

## 3 経済

### （1）国税庁（SAT）改革

22日、フリオ・エストラーダ財務相は、国際通貨基金、世界銀行、米州開発銀行、米国が国税庁の改革の支援を表明したことを明らかにした。国税庁に関する法律の修正や国税庁の幹部の任命システムなどの点で支援する予定である。世界銀行と米州開発銀行は、昨年の当国徴税額が目標額に達しなかったことを懸念しており、現在当国に対するローンの額を制限している。

### （2）環境相による干ばつ予測

22日、シドニー・サムエルス環境相は、今年の干ばつにより、グアテマラにおいて飢餓が猛威をふるうという予測を発表した。彼は気候変動が国内の8県に影響を与え、特にウエウエテナンゴ県、キチェ県、トトニカパン県で甚大な被害を与えていると述べた。彼は干ばつは長引き、9月まで飢餓の発生は続くだろうと予測している。

### （3）政策金利の維持

24日、中央銀行の幹部が政策金利を3%に維持することを発表した。マクロ経済が安定し、インフレーションのリスクがないため、中央銀行は右決定を行った。

### （4）雇用保護法の可決

25日、雇用保護法が国会で可決された。この法律により、マキラ（保税加工区）とコールセンター業界における免税が再び行われ、グアテマラ国内の10万人の雇用が保護される見込みである。

◇主要経済指標◇	2016年		2015年	2014年	2013年
	2月	1月	12月		
インフレ率（前年同月比）	未発表	4.38%	3.07%	2.95%	4.39%
貿易収支（百万ドル）	未発表	△408.8	△551.3	△7,477.6	△7,493.1
輸出（百万ドル）	未発表	864.2	837.7	10,804.1	10,024.8
輸入（百万ドル）	未発表	1273.0	1389.0	18,281.8	17,517.9
外貨準備高（百万ドル）	7636.0	7,680.4	7,751.2	7,333.4	7,272.6
外国からの送金（百万ドル）	558.0	482.0	598.1	5,544.1	5,105.2
為替レート（対ドル月平均）	7.66	7.65	7.61	7.73	7.86

（出所：中銀、国立統計院）

注）2013年及び2014年の為替レートは年平均

#### 4 治安・社会

##### （1）112件のジカ・ウイルス感染報告

8日、保健省は当国内でこれまで112件のジカ・ウイルス感染が報告されていることを明かした。そのうち10件が、妊娠した女性による感染である。44件が2016年の感染で、残りが2015年における感染である。最も多く感染が確認されている県は、ステペケス県、サカパ県、グアテマラ県である。